

地誌 第17回 「アフリカ地誌③ ～アフリカの産業と北アフリカ諸国情勢～」

○今回のポイント

アフリカの産業

(1)アフリカの農業



a.低緯度熱帯地域

○[①]農業…森林や草原に火を入れて焼き払い、その草木灰を肥料として農耕をおこなう。キャッサバ(ナイジェリアでの生産は世界最大,2009年)、タロイモ、ヤムイモ。

b.乾燥気候地域

○遊牧…乾燥に強い羊やヤギ。北アフリカではラクダも。

○[②]

・ナイル川の外来河川沿い、局地的な湧水地で行われ、ナツメヤシ、小麦、綿花などが集約的に栽培。山麓部の地下水を人工的に掘った地下水路を通して導水。北アフリカでは[③]と呼ばれる。カンアルチン(中国)、カレズ(アフガニスタン・パキスタン)、カナート(イラン)、フォガラ(北アフリカ)。

c.地中海性気候地域

アルジェリア、モロッコなどの地中海沿岸と[④]。オリーブ、葡萄。

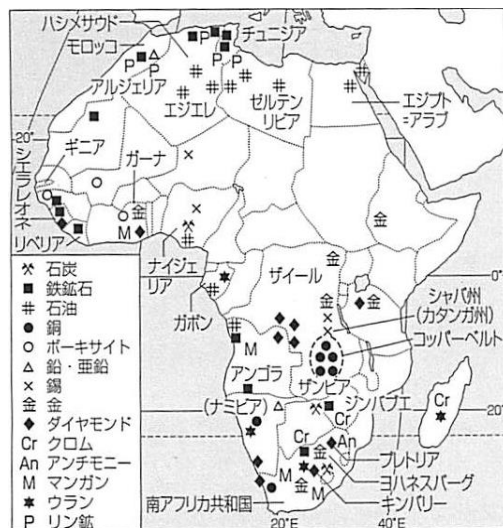
d.沿岸部…輸出用商品作物を大規模単一栽培する[⑤]。

- ・ギニア湾沿岸のカカオ豆…[⑥]、ガーナ、ナイジェリア
- ・エチオピア高原南部のカフファ地方…[⑦]の原産地。
- ・東アフリカのケニア…英領植民地時代の[⑧]のプランテーション
- ・降水量の少ないナイジェリア北部やセネガル…商品作物としての[⑨]

e.南アフリカの農業

- ・ハイベルト北東部…小麦・コーン・牛の[⑩]
- ・ハイベルト中西部…[⑪](羊)
- ・[⑫]…地中海式農業…果樹の栽培と冬の小麦。

(2)アフリカの鉱業



○原油

・北東部の新期造山帯の[⑬]付近  
⇒北アフリカのアルジェリア、リビアなど

・[⑭]…ニジェール川河口部のナイジェリア(アフリカ最大の産油国)、ガボン、アンゴラなど

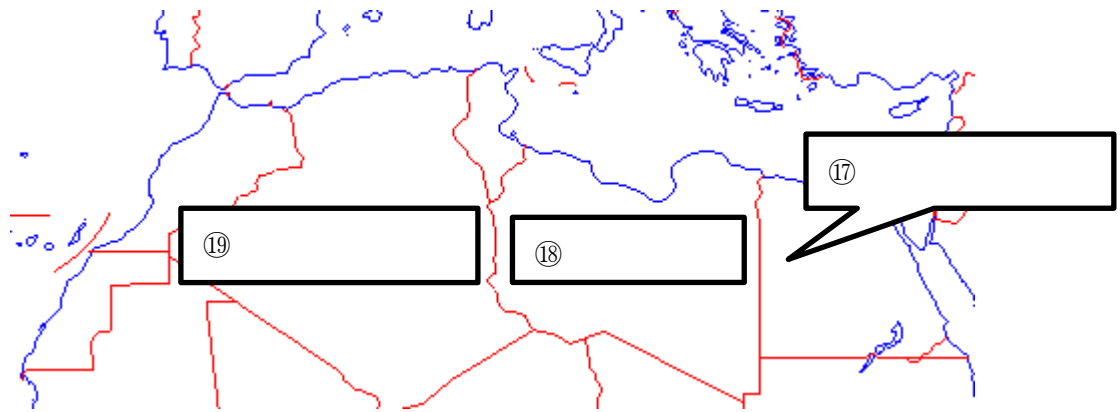
○石炭：南東部の古期造山帯[⑮]付近

○銅鉱：アフリカ中部のコンゴ民主共和国とザンビアの国境付近  
⇒[⑯]

○ボーキサイト：ギニア

○ダイヤモンド：ボツワナ、コンゴ民主共和国、南ア

☆南ア：金鉱、ダイヤモンド、レアメタル



(1)エジプト) 都はカイロ、公用語はアラビア語、人口約 8100 万(2010 年)のイスラーム教国家！

○[20]から独立

1914 年、WW I 勃発により、英国保護国化。戦後、反英運動が起こり、イギリスはエジプトを懐柔するため条件付き独立を一方的に宣言。完全独立を求める運動はなおも続き [21] 年に対等な国家として独立。

○国境線

エジプト-スーダン間：[22] / エジプト-リビア間：[23] ⇒ 植民地時代 [24] 国境

○気候

- ・国土のほぼ全域が砂漠気候(BW)。人口と耕地は [25] のナイル川沿いに集中。
- ・ナイル川…世界最長の河川。赤道が通過する [26] やエチオピア高原などの湿潤地域を水源。サハラ砂漠南部を流れて、地中海にそそぐ。

○農業

- ・ナイル川の洪水を利用して農業が行われ、小麦、ナツメヤシ、[27]、綿花などの栽培が盛ん。
- ・肥沃な土壌…氾濫するたびに上流から運ばれてきた養分を含んだ土壌が河川から溢れ出て、川沿いに堆積。

☆ [28] (1971 年完成)の功罪

○長所

- ・農業用水を安定して確保 ⇒ 灌漑農地の拡大 ⇒ [29] の生産量が増加
- ・流量調節が可能になる ⇒ 洪水防止、水力発電による工業化([30] 工業)

○短所

- ・ダムを建設したことで洪水がなくなると、上流から運ばれてきていた養分に富んだ土壌が、ナイル川沿いの農地に供給されなくなる ⇒ 化学肥料を与えなければ農業ができなくなる。
- ・過剰な灌漑により、土中に含まれていた塩分が地表面に集積する [31] も深刻になる。

(2)アルジェリア…旧 [32] 領。130 年にわたる支配(1830～1962)を受けて、独立。(仏：ド・ゴール政権)

○気候…大部分が BW(砂漠気候)。アトラス山脈以北は Cs(地中海性気候)。

○産業…原油と天然ガスの生産国で [33] 加盟国。アトラス以南は遊牧とフォガラで灌漑農業

(3)リビア … 旧イタリア領。1951 年に独立。アラビア語のイスラーム教。

○1969 年～2011 年、42 年間にわたる [34] 政権

- ・高品質の石油と天然ガスをバックにイスラーム系社会主義独裁を展開した。
- ・2011 年、カダフィ政権は内戦で倒され民主化した。